

皆さんの地域の宝物 大崎市の未来への夢を 聞かせてください！

7地域で
移動市長室を
開催しました

市長が皆さんの地域へ出向き、皆さんと直接ひざを交えてお話を
する「移動市長室 おおさき宝探し未来トーク」。
平成18年度の移動市長室は、7つの地域で開催しました。午前の
部では各地域で活動を行っている団体とその活動を視察し、午後の部
では、申し込みをいただいた参加者の皆さんと意見交換を行い、たく
さんの貴重なお話を聞かせていただきました。
そこで、今回は移動市長室のようすをお知らせします。

◎ 市政情報課広報広聴係 ☎23-5091



in 田尻

平成18年
8月24日(木)



野鳥の楽園「無栗沼」を視察

宝探し〜地域視察〜

NPPO法人「田んぼ」、NPPO法人「無栗ぬま」
ラムサール条約登録湿地である無栗沼と周辺水田で行われている冬期湛水水田「ふゆみずたんぼ」を視察し、無栗沼の環境保全や周辺道路の整備について、NPPO法人「田んぼ」、NPPO法人「無栗ぬま」のクラブと話し合いました。

すまいるママ

平成十六年三月に「たじり子育てスマイル特区」として内閣府より認定を受け、幼保一元化や地場産食材を使用した給食の外部搬入などの取り組みを行っている田尻子育て支援総合施設「すまいる園」を拠点に、子育てをサポートするボランティアグループ「すまいるママ」との懇談を行いました。



in 三本木

in 田尻

in 三本木

平成18年
10月24日(火)



新澤醸造店 新澤巖夫さん

宝探し〜地域視察〜

新澤醸造店
大学在学中に取得が極めて難しい「利酒名人」の段位を史上最年少で取得した若き杜氏新澤巖夫さんが造る「伯楽堂」で、全国的に注目される新澤醸造店では、徹底した温度管理により、厳しい品質管理を行っている。

上伊場野さとも部会
上伊場野さともは、独特な粘りとねっとりとした食感が特徴のさともです。上伊場野地区の土でなければこの味は出ず、生産量が非常に少ないことから市場に出回る機会が少ないため、「幻のさとも」とも呼ばれています。

上伊場野さとも部会の皆

未来トーク〜意見交換〜

Q 不審者情報が増えている。小学校の空き教室などを活用し、小学六年生まで児童保育を延長できないか。
A 地域の実情を把握し、地域住民と共に、空き教室、公民館など、どの施設が良いのか具体的な策を検討したい。

Q 地域自治組織の確立を目指しているが、従来型の行政との関わりを払拭できないままである。参考になる出前講座を開催してほしい。
A 今後、大崎市地域自治組織・市民協働アドバイザの櫻井常矢先生が各地域を訪問し、市民向けの講習を行っていく。市民・職員が一丸となつてまちづくりを進めていくためのきっかけづくりを積極的に進めていきたい。

Q 現在の市営住宅はバリアフリー化されておらず、障害者にはとても不便で危険である。バリアフリーの市営住宅の建設予定はあるのか。
A 平成十九年度着工予定の古川西荒井住宅は、完全バリアフリー化を図る予定である。既存市営住宅のバリアフリー化についても、実情調査を行い、その実現に向けて努力したい。

Q 関東自動車の誘致への取り組みは。
A 自動車産業の誘致については、新たな雇用のチャンスとして取り組む。関東自動車にも情報提供、人事交流をお願いする。東北から百万台の出荷を目指し、誘致に向けて努力したい。

Q 地産地消を進めるため、地域内流通を促進してほしい。さらに、地場産食材を使用した給食を田尻地域以外でも取り入れてほしい。
A 大崎市流として学校給食への地場産食材の使用を全地域に普及させたい。大崎市は食材の宝庫であり、地産地消の機運は高まっている。今後は外食産業にも積極的なPRを行ってほしい。

Q 大崎市内の観光地をルート化し、農業体験学習等を含めた修学旅行を誘致できないか。
A 子どもたちが訪れたいような体験型メニューを作成し、旅行者や教育機関へのPRを行っていく。平成二十年には「仙台・宮城・大崎」も行われることから、大崎市の観光素材を活用したい。イベントを積極的に展開していく。

Q 地産地消を進めるため、地域内流通を促進してほしい。さらに、地場産食材を使用した給食を田尻地域以外でも取り入れてほしい。
A 大崎市流として学校給食への地場産食材の使用を全地域に普及させたい。大崎市は食材の宝庫であり、地産地消の機運は高まっている。今後は外食産業にも積極的なPRを行ってほしい。

天・地・人

市長コラム



早春 暖冬の後遺症が怖い！

花の便りが聞こえてきました。暖冬の後遺症が頭痛の種です。
今年の冬は尋常ではありませんでした。昨年と打って変わって雪が極端に少なく、真冬日が一日もない暖冬でした。例年より三〜四度高く、二月六日には最高気温が十四・五度と四月並みの陽気となりました。気温が一度違つくと、緯度百キロメートル南下と一緒に、今年の場合、東京と同じだったことになりました。生態系も大きく変容してしまいます。

たが、荒雄岳には雪がほとんどありません。例年はたつぷり積もった根雪が、梅雨の季節までゆつくりと解けて、安定的な水源になっていました。しかし、今年は深刻な水不足が心配です。早めの取水制限と節水対策が必要でしょう。

暖冬で良かった点は、除雪費がかからなかったことです。しかし、あまりの異常暖冬に心配事が始まりました。病害虫が越冬して異常発生する事、夏場の水不足、冷夏や豪雨などです。特に心配なのが、深刻な水不足です。

また、亥年は大きな災害に見舞われることが多いと言われています。自然と折り合う知恵を持つ必要があります。易経に「天行健なり、君子以て自強して息まず」という教えがあります。つまり、天体・自然界の軌道は、一刻も休むことなく、健やかに運動している。天変地異、異常気象はいつ起きても不思議ではない。自然界のサイクルなのであり、政を行うものは、片時もそのことを忘れることなく、最善を尽くさなければならぬということになります。

二月五日、五十周年を迎えた鳴子ダムを視察しました。

備えあれば憂いなし。
大崎市長 伊藤康志